

STAGE+を楽しむ(182)(HP 収載)

—ヴェルディのオペラ椿姫—

1. 始めに

前報(181)に引き続き、STAGE+のヴェルディのオペラ椿姫の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はヴェルディのオペラ椿姫の演奏を選びました。

ナディーン・シエラ他、魅力的なキャスト陣で魅せる《椿姫》

フィレンツェ五月音楽祭 2021 年

収録日: 2021 年 9 月 28 日

数々の新プロダクションで注目を集めるフィレンツェ五月音楽祭からまたひとつ、巨匠ズービン・メータが指揮した魅惑の《椿姫》公演をお届けします。アメリカが生んだ新時代の人気ソプラノ、ナディーン・シエラが演じるヴィオレッタを筆頭に、アルフレート役に近年日本のオペラ・ファンを熱狂させているジェノヴァ生まれのテノール、フランチェスコ・メーリを配し、さらには 2024 年の来日公演で有終の美を飾ったイタリアの至宝レオ・ヌッチがジェルモン役を務める最高の布陣。鬼オダヴィデ・リヴェルモーレによる、舞台を 1968 年の 5 月革命に揺れるパリに置き代えた独創的な演出も見どころです。

ソリスト:

ナディーン・シエラ (ソプラノ)、フランチェスコ・メーリ (テノール)、レオ・ヌッチ (バリトン)、カテリーナ・ピーヴァ (メゾソプラノ)、ルカ・ベルナルド (テノール)、カテリーナ・メルドレージ (ソプラノ)、フランチェスコ・サムエーレ・ヴェヌーティ (バリトン)、ウィリアム・コッロ (バスバリトン)、エマヌエーレ・コルダロー (バス)、アルフィオ・ヴァカンティ (バス)、ジョヴァンニ・マッツェイ (バリトン)、エジディオ・マッシモ・ナッカラート (バス)

演奏:

フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団、フィレンツェ五月音楽祭合唱団

指揮:

ズービン・メータ

曲目:

ジュゼッペ・ヴェルディ 歌劇《椿姫》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

当代の人気歌手を集め、メータの指揮によるフィレンツ音楽祭での演奏です。演出は、現代風に置き換えられており、衣装や舞台設定は少し違和感があります。

しかしながら、聴かせどころの aria は、さすがにシエラ始め実力のある人気歌手だけあって、迫力があって盛り上がります。

オーケストラピットの様子は画面に現れませんが、アースアキュライザーの効果で安定した演奏であることが分ります。







4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、華やかであり、哀しみのうちに終わるオペラの代表作である椿姫のステージ感が味わえました。

以上